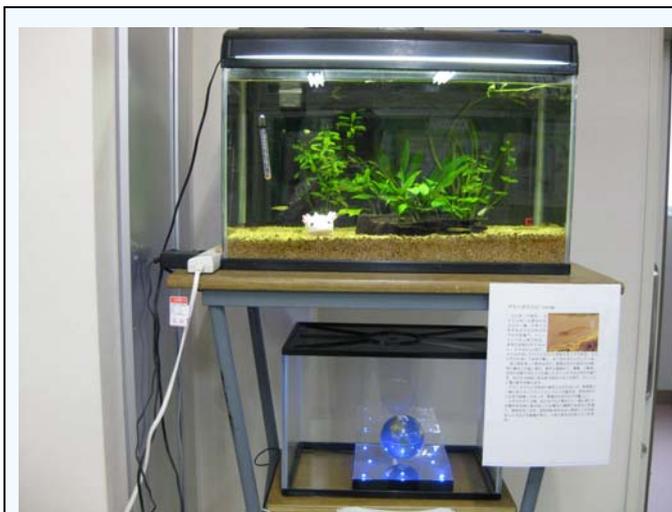


テーマ：『 ひとりひとりが自然事象の不思議さを体感し、学ぶ楽しさを実感できる理科学習を目指して 』

宇都宮市立 晃陽中学校

Tel. 028-665-0042 担当 中村 靖之



#### ■実践内容:

生徒ひとりひとりが、授業の中で自然事象の不思議さ、学ぶ楽しさを体感できる理科学習を実践していくために、次のような日々の理科学習を展開し、さらに学校全体の学習環境を整えた。

- (1) 体験や探究活動を中心とした理科の授業
- (2) 知的好奇心を喚起していくための、体験型展示物の充実
- (3) 生物を飼育することで、生命に対する畏敬の念や優しい心を育む

#### ■実践成果:

理科授業の中で、日常の自然事象と関連付けながら探究していく活動を多く取り入れたり、教材教具を工夫しできるだけ個別化個性化を図ることを心がけた実践をこの2年間重ねた。また、課題解決的な学習(自ら課題解決のための観察・実験の方法を考え、観察・実験を行い、その結果を考察し、その成果を発表していく)を多く取り入れた授業形態の工夫を行った。

その結果、多くの生徒が科学的に探究する楽しさや喜びを知り、理科への興味・関心が高まり、理科を学ぶ喜びが実感できるようになった。日々の実験・観察にも意欲的に取り組む姿勢が見られるようになり、その成果を自信を持って他の生徒に伝えたり、創意工夫あふれるレポートにまとめ発表したりすることができるようになった。

また、朝会の校長講話の中で最新の科学関連ニュースを話題に取り上げたり、学校内外の身近な動・植物の生態や特徴の話をしたり、1階職員室前の廊下にさまざまな理科展示物コーナーを設置し定期的にリニューアルしていくことで、自然科学に対する知的好奇心をさらに高めることができ、豊かな心の育成の一助にもつながった。

#### ■実践ポイント:

授業実践においては、生徒一人ひとりが観察や実験にかかわれるよう教材・教具の個別化を出来るだけ工夫した。理科展示物コーナーでは、不思議なおもしろい科学グッズをそろえ、見て・触れて・遊んで体験できるものを取り揃えた。また、定期的に展示物を模様替えし、科学への知的好奇心が継続するよう心がけた。